ノズル表面・内壁の組成評価

凹凸サンプルの組成分布評価が可能です

:TOF-SIMS 測定法

製品分野:製造装置・部品・日用品

分析目的:組成分布評価

概要

TOF-SIMSは元素分析と有機物・無機物の分子情報の解析が同時にできることや、イメージ分析が可能 なことから、分布評価などに有効な手段です。

本資料では、ノズルの内壁を分析した事例を示します。

ノズル表面と内壁の分布が確認され、各部位でのピークの有無の確認ができました。

データ

■サンプルの説明

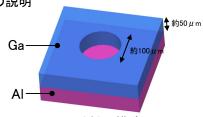


図1 試料層構造

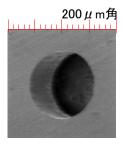
表面と内壁がGaで コーティングされたノズル穴

プレート膜厚:約50 µm, 穴のサイズ :約100 μ m φ

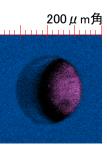
Al (金属など)

27(AI)

■結果



トータルイオン像



Al• Ga₂O



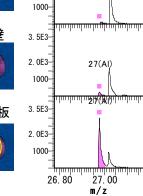
3. 5E3-

2. 0E3-

内壁



AI基板



69(Ga) 1. 5E4 1. 0E4 5. 0E3-1. 5E4 1. 0E4-69(Ga) 5. 0E3-1 5F4 1. 0E4-5. 0E3-69(Ga) 68. 95

Ga (金属など)

図3 TOF-SIMS測定結果 (ピークリスト結果)

■まとめ

ノズルプレートの表面と内壁ではコーティング材のGa、基板ではAIの分布がみられており、 空間分解能よく、凹凸の評価ができております。

また、各部位を抽出することでピークの有無の確認ができております。

<測定起因による注意点>

※測定起因により、m/z1~30の範囲はピークが得られない場合もあります。

図2 TOF-SIMS測定結果

(イオンイメージ結果)

般財団法人 **材料科学技術**振興財団

URL : https://www.mst.or.jp/